

競 技 の 概 要

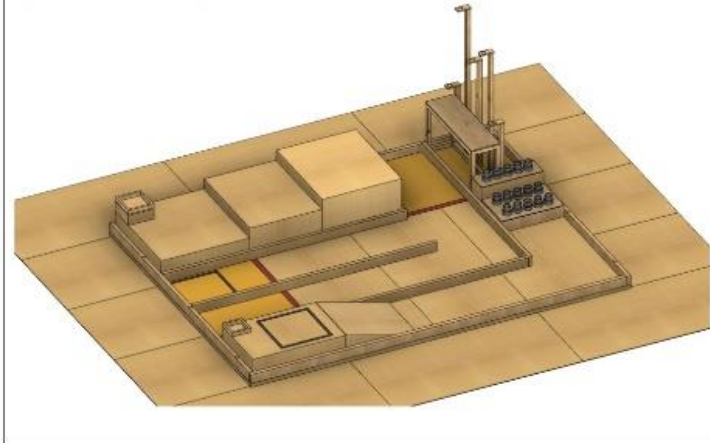
令和5年7月28日（金）

宮崎県立宮崎工業高等学校

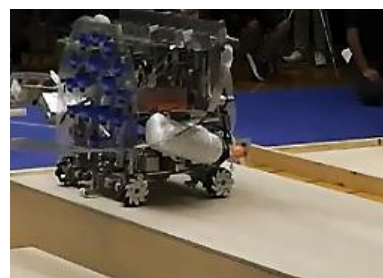
行事等名	第31回全国高等学校ロボット競技大会・宮崎県大会
日 時	令和5年8月10日（木）12時35分～15時25分 集合9：30
実施場所	宮崎市佐土原総合文化センター（佐土原くじら館）
主 催	宮崎県高等学校教育研究会・工業部会
参加者	宮崎県 工業高等学校（ロボット製作した生徒）
	<p>1 目的</p> <p>(1) 「全国高等学校ロボット競技会」は全国の専門高校等で学ぶ全国の高校生が、創造力を発揮して新鮮な発想で工夫を凝らし、仲間と協力しながらロボット競技を競うものである。製作過程を通して高度な技術・技能を習得し、ものづくりへの興味関心を高めさせるとともに、次世代を担う技術者としての資質を向上させることを目的としている。</p> <p>(2) 今大会は10月28・29日に福井で開催される第31回全国高等学校ロボット競技大会福井大会の予選会とし、上位3台が出場権を得る。</p> <p>2 競技内容</p> <p>(1) イメージ</p> <p>福井県は近年恐竜王国として有名であり、日本で最も多くの恐竜化石が発掘されている。本競技は恐竜化石をロボットで発掘し、数多くのアイテムを設置できるかを競うルールである。</p> <p>(2) 競技概要</p> <p>ア 競技時間は3分間。</p> <p>イ 各チームは2種類（リモコン型ロボット・自立型ロボット）の自作ロボットで出場する。</p> <p>ウ ロボットはアイテムを回収し、指定された場所に設置する。</p> <p>エ 競技終了までにアイテムを全て設置すれば、残り時間で加算される。</p> <p>(3) 見どころ</p> <p>ア リモコン型ロボットは、生徒の操縦により所定の場所に設置されたアイテム（テニスボール・ペットボトル大、ペットボトル小、インクレーザー）を回収したのちに指定のエリアに自立型ロボットに乗って移動しアイテムを配置する。ロボット規定寸法の3倍の高さもある設置場所にどのようにして設置するか、伸縮する機構が必要でありロボットの操縦技術が問われる。</p> <p>イ 自立型ロボットはプログラムを入力して自走する。所定の場所から移動しリモコン型ロボットを乗せアイテム設置エリアに移動する。発着可能エリアで自動停止することができたら得点となる。</p> <p>ロボットのプログラムの完成度や強度が問われる。</p>

令和5年度 課題コース

競技コート 組立イメージ図



イメージ



全国高等学校ロボット競技大会は全国産業教育フェアの一つの部門として今年は全国より96チームが参加する。

第31回の歴史ある全国大会は、ロボットの甲子園大会として人気があり、毎年数多くの来場者が来られ盛大に開催されている。

お問い合わせ先

宮崎県立宮崎工業高等学校

担当者 堀切 串木野

電話 0985-51-7231